学校番号	２０３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ（理系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新探求古典Ｂ　（桐原書店）						
副教材等	・「共通テスト国語対策問題集　標準から実践へ　古典編」（桐原書店） ・「大学共通テスト対策　新装版　錬成古文」（尚文出版） ・「古典文法　改訂版」（東京書籍） ・「古文単語　３３０」（いいずな書店） ・「精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらに向上させましょう。
・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
・さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

2　学習の到達目標

・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考え方を豊かにする。
・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話・随筆	教材： 『古今著聞集』 「刑部卿敦兼と北の方」 『枕草子』 「二月のつごもりに」	○			◎	○	a:説話・ 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	思想	教材： 『孟子』 「四端」 『老子』 「大道廃有仁義」	○			◎	○	a:古代中国の思想から現代に通じるものの見方・考え方を知る。 d:中国の主要な思想である儒家と道家の主張の概要を理解する。 e:漢文の句法を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	詩	教材： 「芙蓉楼送辛漸」 「登高」						a:漢詩が日本の文学に与えた影響について理解する。 d:詩作の歴史的背景を理解する。 e:漢詩の詩型や構成を理解する。	
	日記	教材： 『蜻蛉日記』 「嘆きつつひとり寝る夜」 『建礼門院右京大夫集』 「かかる夢見ぬ人やいひけむ」	○			◎	○	a:日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d:和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e:読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

	物語	教材： 『源氏物語』 「葵上と物の怪」 「柏木と女三宮」	○			◎	○	a:「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d:登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e：読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	評論	教材： 『古今和歌集仮名序』 「やまと歌は」	○			◎	○	a:著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 d:話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e:漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	近世の文章	教材： 『雨月物語』 「浅茅が宿」 『柴門の辞』 「風雅の道」	○			◎	○	a:作品の読解を通して、その時代に生きた人々の人間像を理解しようとする。 d:中古の文章との違いに留意して読み、違いを理解している。 e:近世にいたるまでの文学史を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認 e:小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。